

事業所名

はばたきキッズ

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

27日

法人（事業所）理念		家庭的な雰囲気の中で、子どもの個性を大切にしながらのびのびとした日常生活や遊びの中で、今抱えている発達上の課題を見だし、療育による子どもに直接働きかける実践を通して、長所を大事に伸ばしていきながら、苦手を克服していきます。										
支援方針		いろいろな運動を通して身体をおもいきり動かすことを楽しみながら、小さな「できた」を積み重ねていき、子どもたちの自信に繋がります。また、子どもの自立心や社会性、ルールやマナー、礼儀作法等も学んでいく中で、今後の学校生活や社会生活、更にその次のステップへと進んでいけるような支援を行っていきます。学童期・思春期の発達支援に重要な「自己肯定感」「達成感」「仲間形成」を育み、安心して過ごせる居場所づくりを通して「孤立の防止」を実現していきます。										
営業時間		平日	9時	30分	18時	30分	分まで	送迎実施の有無		あり	なし	平日は基本お迎えのみ（活動後は保護者迎え） ※帰りの送迎について事業所周辺は応相談
		土曜日	8時	30分	15時	00分	分まで	支援内容				
本人支援	健康・生活	来所時には、視診・触診・検温などを行い、健康把握に努めます。また、毎日の清掃と消毒を行い、健康管理を行います。ご家族や関係機関と連携を図り、日々の体調の変化を把握することで状況に応じた対応を行います。持ち物の整理や排泄、着替えなどの生活に必要な行動の見通しが持てる環境を整えます。自分の意思を表出できる機会を提供し、考え、伝える力を身に付けられるよう、環境を整えます。登園時に会話や自由遊びを楽しみながら表情や様子を確認し、生活リズムの安定・健康状態の把握を行いながら、状況に応じて1対1での対応も視野に入れながら無理なく安心して活動を楽しめるようにしていきます。活動の時間が楽しみな時間になるように、気持ちを汲みながら興味のあること等を含めて身体をおもいきり動かすことを楽しめるように環境設定や活動内容を工夫していきます。										
	運動・感覚	運動は子どもたちにとって、集団の中での遊びに加わったり、興味の幅を広げたりするために欠かせないものであり、自己肯定感を養うことができる大切なものと考え下記の事項を考慮しつつ行っていきます。 ・運動の能力や動作の基本的技能の向上・身体的障害を考慮した動きの習得を図る。 ・姿勢保持や日常の動きを可能にするための身体づくりを支援する。 ・活動の中で、待つ・動く等（静と動）の切り替えや他児と一緒に空間に慣れる・楽しむ等の適応を図る。 ・おもいきり身体を動かす中で、楽しく発散ができる機会を提供します。 ・微細運動や粗大運動、感覚遊びを取り入れ、手指や身体の使用の仕方、日常生活に必要な動作の獲得に繋がっていきます。 ・子どもたちの意見を取り入れながらいろいろな運動遊びを通して、おもいきり身体を動かすことを楽しむ中で自然と体力や体幹、身体機能の向上を図っていきます。 ・生活する上での苦手な感覚が軽減するように、活動の中で多様な感覚を十分に活用できるようにします。 粉遊び、新聞紙遊び、感覚遊び等を取り入れ、おもいきり刺激（色・形・重さ・柔らかさなど）を楽しめる環境を取り入れていきます。										
	認知・行動	小集団で指示を理解して行動することや周りに合わせて行動するといった場に応じた行動ができるように配慮し日常生活に繋がっていきます。それぞれの学習面や運動面でつまづいている箇所を話し合い、必要に応じて個別に関わりながら、課題等に取り組んでいきます。子どもの興味関心に沿って様々な提案を行い、自己選択・自己決定ができるプロセスを経験できるようにしていきます。										
	言語コミュニケーション	自然と会話や相談ができる雰囲気作りや日頃のかかわり合いを大切にしながら安心して相談できる関係を築いていけるように配慮していきます。個別の実態に応じてコミュニケーションを楽しめるよう、ことばだけでなく身振りや指差しによる意思の伝達ができるように配慮していきます。小集団で他者とのかかわりの場面を提供し、相手の気持ちを理解したり自分の気持ちや考えを伝えたりする環境を整えます。周りや相手の事を考えながら、コミュニケーションが取れるように状況に応じて間に入りながら、他者と良好な関係が築けるように支援していきます。言語に限らず、表情や仕草、全身運動など様々な手段を通して、自信を持って自らの思いをことばにできるように環境作りを行っていきます。										
	人間関係社会性	支援者が共感の声掛けや個別でのスキンシップを行うことで、安心して過ごせる環境を整えます。小集団でのルールのある遊びを通して、他児に対する興味を高め、関わり方を学べるよう働きかけます。集団生活におけるルールやマナーを、個々の実態に合わせて理解度を確認しながら獲得に繋がっていきます。自分の意思を伝える場を設けることで、子どもの意思の尊重と気持ちの確認をしていきます。話し合いや協力する活動を通して、自分の考えや気持ちを伝えたり、相手を認め多様な考えを受け入れられたいりできるように支援していきます。思い通りにいかない場面や我慢しなければならない場面も経験しながら、自分自身で気持ちの切り替えや言動のコントロールができるように支援します。										
家族支援		必要に応じて相談援助を行います。日々のお迎えの際に直接情報共有を図っていきます。保護者同士の交流の機会の提供を行っていきます。兄弟同士の交流の機会の提供や兄弟に対する相談援助を行っていきます。					移行支援			目標とする進路に向けての相談支援やその方向性に向けての準備支援、情報提供を丁寧に行っていきます。		
地域支援・地域連携		関係機関との連携を図り情報共有を行っていきます。地域の施設利用：グラウンド・ドームなど、地域の公共施設を利用し地域資源を活用します。放課後に遊ぶ地域の子どもたちと積極的にかかわる場を提供するなど、地域との交流の機会を提供し支援していきます。					職員の質の向上			日々の活動後の振り返りを通して、丁寧な情報共有や困り感や思いの共有を行い、支援の方向性を皆で考えていく中で支援の質の向上を目指していきます。積極的な外部研修への参加や内部研修の実施を行っていきます。		
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>親子食育体験（年間を通してのお米作り体験）</li> <li>サッカー大会（はばたきカップ）</li> <li>野球レクリエーション（ティーボール・逃走中）</li> <li>多種目スポーツ会（サッカー・テニス・ティーボールなど）</li> <li>季節の遊び（水合戦・節分・ハロウィンなど）</li> </ul> など様々なイベントを行っています。										